

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査 横井 秀樹

審査委員 上野 和良

審査委員 小池 義和

審査委員 石川 博康

審査委員 中津原 克己

*審査委員

氏 名	Salinee Choowitsakunlert
論文題目	Study of waveguide optical isolator employing nonreciprocal radiation mode conversion for Si photonics
〔論文審査の要旨〕	
<p>7月30日（火）13:00～15:00の時間帯で、教室棟503教室において最終審査のための公聴会が開催された。学外審査委員は、光エレクトロニクス分野、特に導波路型光素子全般にわたって大変造詣が深い神奈川工科大学の中津原克己教授にご担当いただいた。プレゼンテーションでは、導波路型光アイソレータの必要性、光アイソレータの構成に必要な磁性ガーネットを含む磁気光学導波路の製作プロセス、シリコン導波層を有する光アイソレータの構造及び動作原理、光アイソレータの性能評価のためのアイソレーション比導出方法の確立などについて、60分程度で説明がなされた。プレゼンテーションの後に、60分程度にわたって質疑応答及び審査が行われた。予備審査の際に審査委員から出された博士論文に対する質問、コメントに対して、最終審査用に提出された論文内において修正が十分に行われていないことが指摘された。研究の背景や目的などについては、コメントに対して対応がなされたと判断できるが、研究のオリジナリティや研究成果が与えるインパクトに関する説明などについて、さらなる説明の追記が必要であるとのコメントが出された。予備審査の際に発表に関して出されたコメントに対して、プレゼンテーション資料や口頭での説明において的確に対応がなされたことが確認された。博士論文に関して指摘された事項の修正については指導教員である主査から伝達することとし、博士論文を提出するまでに修正させることとした。</p> <p>今回の最終審査での発表内容、及び研究成果として論文が学術雑誌に4編採択されていること、国際会議で多くの発表を行っていることなどを判断材料として、質疑応答の後に最終審査に関して投票を行い、審査委員全員が合格と判定した。</p>	